

要約

リハビリテーションや看護の現場から支援をいただき、教材玩具を開発しました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

青森県には家具・建具・工芸分野で優れた技術を有する企業があり、近年は、木工技術を応用した木製玩具開発から子供用の空間作りで実績を伸ばしています。そこで、木製玩具をリハビリテーションや看護視点を基に開発し商品化を目指しました。

2. 内容

- ・リハビリテーション技師と木工企業などからなる研究会（メディカル玩具研究会）を発足し、共同で玩具の開発をしました。
- ・開発した玩具を医療現場でモニタリングし、リハビリテーション技師や看護師が教材として取り入れやすく、患者も楽しく遊べる玩具を開発しました。

3. 活用等

- ・共同で開発した玩具を医療関係者や一般消費者向けに販売しています。
- ・福祉施設や小児看護の現場で使う、新たな木製品が開発できます。



写真1 玩具セット提案 子どもの遊び場

写真2 指文字
学習玩具「ゆびも」写真3 吹く玩具
「ふ〜て」

関連情報

- ・開発した製品や取り組みが認められキッズデザイン賞（内閣府認証NPO キッズデザイン協議会）を受賞しました。 受賞商品「ツミックブロック」「ゆびも」
- ・販売先：コタビ（<http://www.kotabi-thk.com/>）
エスコアール（<http://www.escor.co.jp/>）

弘前地域研究所 生活デザイン部

Tel. 0172-32-1466

E-mail kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

